

# 進路指導室へようこそ2

前橋女子高校進路指導部

令和6年度 MJ 進路通信 第43号

令和7年1月17日(金)発行

## ■明日から共通テスト～頑張れ3年生～

会場の準備も着々と進んでいます

試験日	出題教科	出題科目	試験時間
第1日	地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』 『歴史総合、日本史探究』 『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』 『地理総合/歴史総合/公共』(注1) 『旧世界史A』『旧世界史B』 『旧日本史A』『旧日本史B』 『旧地理A』『旧地理B』 『旧現代社会』『旧倫理』 『旧政治・経済』 『旧倫理、旧政治・経済』	2科目選択 9:30～11:40(注2) 1科目選択 10:40～11:40
	国語	『国語』	13:00～14:30
	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	『英語』『リーディング』 『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』 【筆記】 15:20～16:40 『英語』『リスニング』 17:20～18:20(注3)
第2日	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』(注1) 『物理』『化学』『生物』『地学』	2科目選択 9:30～11:40(注2) 1科目選択 10:40～11:40
	数学①	『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ』 『旧数学Ⅰ・旧数学A』『旧数学Ⅱ』	13:00～14:10
	数学②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』 『旧数学Ⅱ・旧数学B』『旧数学Ⅲ』 『旧簿記・会計』『旧情報関係基礎』	15:00～16:10
	情報	『情報Ⅰ』『旧情報』	17:00～18:00



### 1/22(水)午後?

分析結果が各業者からリリースされます。受験生も自分のスマホ等から結果を見ることができます。登録しなかった受験校も判定を調べることができますし、共通テスト利用受験の判定も出ますので、ある程度の目途がたちます。ただし情報に振り回されないことも大事。業者の情報で「この大学は人気薄で狙い目」とされた大学に受験生が殺到し、蓋を開けたら高倍率、というのは有名な「受験あるある」。この時期は冷静に私大や国公立大の受験準備を進めることが最優先です。

### 1/23(木)出願検討会

3学年・進路指導部・授業担当の先生が一堂に集まり、生徒一人ひとりの出願について検討する会議です。各業者の分析や全国の志望動向などを踏まえ、適切なアドバイスを皆で考えます。

### 1/24(金)2者面談

担任の先生と、最終的な受験校の確認をします。方向性が定まったらすぐに出願の準備です。

### 1/27(月)～2/5(水)国公立大出願

いよいよ国公立大の出願。共通テストと違い、出願はすべて自分で行います。国公立大の入試には、前期・中期・後期と3回ありますが、すべてこの期間に出願を行います。

出願が終われば、後は勉強あるのみ。特編授業が行われていますが、この時期一番重要なのは

### 「学校から離れない！」

こと。不安から家や塾の自習室に籠ったり、他の人と違った行動に出てしまう人はだいたい失敗します。仲間と励ましあってこそ「受験は団体戦」が体現され、チームMJの大きな力となります

いよいよ明日から共通テスト。3年生は本日学年集会(事前指導)を行い、午後からは翌日の試験に備えて放課となりました。共通テストは、上の時間割にあるように2日間に及ぶ試験で、長い人は2日間とも18時前後まで試験を受けることになります。

翌日は学校にて自己採点が行われ、その結果をもとに第一志望の出願先を検討していきます。同時に私立大学の受験も始まりますので合格発表までは緊張の毎日です。来週から3年生は、次のような流れで受験まで動いていきます。1・2年生の皆さんもこの機会に受験の流れについて確認しておきましょう。

### 1/18(土)・19(日)共通テスト本試験

2日目の夜には試験問題と正解、予備校業者等による難易度予想が公開されます。最近では待ちきれずに答え合わせをする人も多いようです(翌日学校でももう一度自己採点を行います)。

### 1/20(月)自己採点

解答を記録した問題冊子を持参し、一斉に自己採点を行います。昨年度から、webによる自己採点の提出となりましたのでchromebookも必要です。画面上で解答を打ち込んでいくと自動的に採点し、得点が判明します(つまり、合計を計算する際の間違ひは起こらない)。入力の間違ひがないように、丁寧に点検作業を行い、得点データを提出します。同時に志望校を登録し、結果を待ちます(志望校は事前に登録しておきます)。

## ■共通テストでは、こんな問題が出ます

新課程入試1年目の共通テスト。旧課程の問題とはそれほど大きな違いはありませんが、試作問題として大学入試センターが公開しています。下の問題がその試作問題ですが、一見何の教科か分からないですよ。ひと昔前の問題（センター試験や共通一次）と比べても、読解力や、探究型の題材、身近な現象についての興味関心が強く求められていることが分かります。

**第3問** 修学旅行で藤原宮跡の資料館を訪れ、展示されていた木簡の解説シートをもらった。そこで、旅行後の日本史探究の授業でグループ学習を行い、木簡を手掛かりにして、前後の時代と比較した藤原京の時代の特徴について考察し、発表することになった。アキラさん・ラナさん・カネさんのグループは、次の解説シートの木簡を担当した。これを読み、後の問い(問1~4)に答えよ。(配点 15)

**解説シート**

展示番号2 藤原宮跡出土木簡

【木簡に書かれている文字】

- ・(表) □於市□遺余九十斤糧王 軍便門
- ・(裏) □月二日大藏院八位上津史園方呂

(注) □は文様により読めない文字。(括弧)は裏の跡により「括」で推定されることを示す。

【解説】

「括」は「束る」という意味であり、この木簡は、ある月の3日に、ある役所(注)の「大藏」(後醍醐天皇(主君)が復讐する場合、その上位の番)であった津史園方呂(注)という人物が、市において余九十斤(約54kg)を売るように担当者に指示したものと推測される。奈良時代の古文書によれば、役所が市で必要なものを調達していたことが分かるので、この場合も、糸を売却して他の物品を手に入れたのだろう。年の記載がないが、官職と位階の表記から、この木簡は大宰大監の施行後に書かれたものであることが分かる。大宰令では、宗に官営の市が設けられ、市司がそれを監督した。

「遺余」は門の名で、藤原門と「遺」は門は「遺」は藤原宮の門である。おそらく担当者はこれらの門を通して藤原宮内の役所から糸を運び出し、京内の市で売ったのであろう。

(藤原宮木簡一 解説。奈良文化研究所所蔵より作成)

**問4** 難民をめぐる現状や課題について追究してきたレイさんたちは、これまでの学習で明らかにしてきた課題と、考えられる解決策について次の資料3にまとめた。資料3中の空欄EとFには語句aとbのいずれか、空欄力とキには語句xとyのいずれかが当てはまる。空欄Eと力に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、後の①~④のうちから一つ選べ。 [4]

資料3 レイさんたちがまとめたポスター

難民問題の解決に向けて必要なことは？

難民の発生に関する課題と解決策

内戦・紛争の発生や長期化	難民の安全や人権に対する侵害
紛争解決・平和構築	人道支援・開発協力
<ul style="list-style-type: none"> <li>PKOの派遣や第三者による仲介</li> <li>当事者同士との和解</li> <li>( E )</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な移動手段の確保</li> <li>避難先での衣食住、医療の確保</li> <li>( F )</li> </ul>

難民を生まないための取組みや、難民への直接支援が重要!

難民の受け入れに関する課題と解決策

受け入れの地域差	受け入れ社会との摩擦
力	キ
<ul style="list-style-type: none"> <li>財政・物資・人材支援</li> <li>国際機関・国・NGOなどの連携</li> <li>受け入れを各国に誘導する(但しでの実施例を調べてみてはどうか?)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な価値観や文化・宗教に対する理解の向上</li> <li>多くの難民を受け入れてはどうか?</li> </ul>

受け入れをめぐる課題を様々な立場から考えることが必要!

**B** 次の文章を読み、後の問い(問1~3)に答えよ。

Mさんのクラスでは、文化祭の期間中2日間の日程でクレープを販売することにした。1日目は、慣れないこともあり、客を待たせることが多かった。そこで、1日目が終わったところで、調理の手順を見直すなど改善した場合に、どのように待ち状況が変化するかシミュレーションすることにした。なお、このお店では同時に一人の客しか対応できないとし、客が注文できるクレープは一枚のみとする。また、注文は前の客に商品を渡してから次の注文を書くとして考える。

問1 次の文章および表中の空欄[ケ]~[シ]に当てはまる数字をマークせよ。

まず、Mさんは、1日目の記録を分析したところ、注文から商品が渡すまでの一人の客への対応時間に約4分を要していることが分かった。

次に、クラスの記録が1日目の来客時刻を記録していたので、最初の50人の客の到着間隔を調べたところ、表1の人数のようになった。この人数から相対度数を求め、その累積相対度数を総数とみなして考えてみた。また、到着間隔は一定の範囲をもとに集計しているため、各範囲に対して階級値で考えることにした。

表1 到着間隔と人数

到着間隔(秒)	人数	階級値	相対度数	累積相対度数
0以上~30未満	6	0分	0.12	0.12
30以上~40未満	7	1分	0.14	0.26
40以上~50未満	8	2分	0.16	0.42
50以上~60未満	11	3分	0.22	0.64
60以上~70未満	9	4分	0.18	0.82
70以上~80未満	4	5分	0.08	0.90
80以上~90未満	2	6分	0.04	0.94
90以上~100未満	0	7分	0.00	0.94
100以上~110未満	1	8分	0.02	0.96
110以上~120未満	2	9分	0.04	1.00
120以上	0	-	-	-

何の教科の問題か分かりますか？(最後の問題は縦書きだから・・・)

答えは、左から「日本史」「地理」「情報」。「調べもの形式」の問題は新課程のトレンドかもしれないですね。また、昨年の共通テスト数学ⅠAでは次のような問題が出題されました。

図1のように、電柱の影の先端は坂の斜面(以下、坂)にあるとする。また、坂には傾斜を表す道路標識が設置されていて、そこには7%と表示されているとする。

電柱の太さと影の幅は無視して考えるものとする。また、地面と坂は平面であるとし、地面と坂が交わってできる直線を $l$ とする。

電柱の先端を点Aとし、根もとを点Bとする。電柱の影について、地面にある部分を線分BCとし、坂にある部分を線分CDとする。線分BC、CDがそれぞれ $l$ と垂直であるとき、電柱の影は坂に向かってまっすぐにのびているということにする。

坂道の斜面に写る電柱の影の長さを数学的に考察する、という身近な場面(「身近」かどうかは異論があるかもしれませんが)を題材にした問題でした。数学的には、今年2025年は平方数(45の2乗)なので、私大の入試含め「2025問題」がいろいろ出るような気もしますが・・・。いずれにせよ、入試問題そのものにもぜひ興味をもって見てほしいと思います。

**問3** 気候変動が健康に影響を与えることを知り、高校生として何ができるか考えたひかるさんは、【資料Ⅰ】と【資料Ⅱ】を踏まえてレポートを書くことにした。次の【目次】は、ひかるさんがレポートの内容と構成を考えるために作成したものである。これを読んで、後の問い(問1)に答えよ。

【目次】

テーマ：気候変動が健康に与える影響と対策

はじめに：テーマ設定の理由

第1章 気候変動が私たちの健康に与える影響

- 暑熱による死亡リスクや様々な疾患リスクの増加
- 感染症の発生リスクの増加
- 自然災害の発生による被災者の健康リスクの増加

第2章 データによる気候変動の実態

- 日本の年平均気温の経年変化
- 日本の年降水量の経年変化
- 台風発生数及び日本への接近数

第3章 気候変動に対して健康のために取り組むべきこと

- 生活や行動様式を変えること
- 防災に対して投資すること
- X
- コベネフィットを追求すること

おわりに：調査をふりかえって  
参考文献